

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社JA物流かごしま	代表取締役社長	西元 昭浩	鹿児島県	運輸業, 郵便業	<a href="https://www.karen-ja.or.jp/about/ja-butsumaru/">https://www.karen-ja.or.jp/about/ja-butsumaru/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2022年8月1日
-------	-----------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ②	予約受付システムの導入	弊社肥料工場に入庫する車両を対象とした予約受付システムを導入し、荷待ち時間の削減に取り組めます。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	パレット等を活用し、荷役時間の削減等による物流合理化に取り組めます。
4	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から集荷先や配送先の集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
5	A ⑰	物流システムや資機材の標準化	モーダルシフトを推進し、新たな輸送手段の確保や二酸化炭素排出量の削減など環境負荷の軽減に取り組めます。
6	B ①	運送契約の書面化の推進	荷主や物流事業者との契約書の書面化を推進します。
7	B ④	下請取引の適正化	物流事業者から燃料サーチャージの導入について相談があった場合には、真摯に協議に応じます。
8	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
9	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運行を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と判断した場合は、その判断について、お客様に理解を求めます。
10	F ①	労働環境の改善	女性や60代以上の運転者等が活躍できる働きやすい職場・労働環境の改善に取り組めます。

PR欄	当社は、JA鹿児島県経済連の物流会社として、県下JAグループの物流機能を担うとともに、農業生産の基幹材料であるBB(バルク・ブレンディング)肥料を製造するなど、地域農業の発展に貢献致します。
-----	---